

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安 寿

## 目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 09 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ターミナルケアの指針を作成し、職員間で看取りについて検討し、マニュアル化を図っているが、「まず、やってみよう」という方針で、利用者、家族、主治医と連携を図り、経験者の代表を中心とした看取り体制を整えていく。	看取りでは、職員のチームワークと、やる気が重要で、職員の意識の高揚を図り、何度も話し合い、方針を共有して、利用者や家族が安全で、安心して終末期を迎えられる体制を確立していく。	12ヶ月
2	6	職員の介護技術の向上を目指す	ベテラン職員と新人職員との介護力の差は、利用者一人ひとりの介護サービスの提供が、公平に、行われない場面も出てくるので、新人職員のレベルアップと、利用者との信頼関係を深めていく。	職員の経験や、習熟度、やる気等を考慮し、外部研修に交代で派遣し、報告会で職員全員に理解してもらい、実践し話し合い、改善しながら職員の質の向上に結び付けていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。